

大阪府立東住吉高等学校 緑友会

# 緑友会報

第 42 号

2024 年(令和 6 年)6 月 1 日発行

特 集

創立 70 周年記念事業

題字：松澤 優里（普通科 65 期生）



緑友会館の現状。1階奥の食堂は今年の夏、70周年記念事業で多目的ホールに改修予定。

## 創立 70 周年記念事業

### 緑友会館の食堂の多目的ホール化改修と式典日程・卒業生落語家らの公演が決定 実現へ向け、ご理解と あと一押しのご支援を

今年度は母校創立 70 周年。緑友会は、学校などと記念事業実行委員会を組織して取り組みを決めました。

緑友会が計画していた食堂改修「(仮称) 緑友ホールプロジェクト」と、落語家ら大衆芸能で活躍する卒業生約 10 人が公演する式典の 2 本柱です。

食堂改修費用は、目標 2000 万円の半分を後援会「み

どり会」と PTA が出資。残りは緑友会と寄付で賄います。昨年度は会員から 456 万 3137 円 (971 個人・団体、延べ 1032 件) が寄せられました。実現に向け今年度もご支援をお願いします。

**緑友会の目標達成までは、まだ半分です！  
皆様の「ヒガスミ愛」を届けてください。**

#### ＜食堂の多目的ホール化改修＞

1963 年（昭和 38 年）1 月の食堂開業から 61 年。当時「府内公立高校随一」とされた施設ですが、いまだに空調設備がなく老朽化も進んでいます。これを多目的に活用できるにぎわい空間によみがえらせます。夏休み中の施工です。

天井や床の一新はもちろん、隣家の迫る西側窓面を明るく落ち着いた壁面にしてカウンターを設けたり、210 平方㍍ の広い空間をイベントにも使えるよう可動式舞台を収納したりします。

空調は厨房部分を含めて完備。イスやテーブルは塗装や天板張り替えを施して再利用。敷地に入る門扉、通路の屋根と路面、手洗い場などの化粧直しも行う予定です。今年 1 月に行った設計コンペには 2 グループが参加、魅力的な提案を受けましたが、見積価格が当初予定額を大きく超えていたため採用を断念。建築士資格を持つ同窓生の助言を元に改めて仕様の再検討を行った上で入札を行い、3 月に空調設備、4 月に内装・外構工事の業者を決めました。



上は改修後の内装予想図、下は改修前の食堂の写真

#### 創立 70 周年プロジェクトにご理解・ご支援をお願いします。

上記のとおり、70 周年記念事業は進んでいますが、その実施にあたっては、工費の高騰など予期せぬ困難な状況に遭遇しております。後援会「みどり会」、PTA のご支援により、緑友会の目標額は半分の 1000 万円になりました。

今年度も創立 70 周年プロジェクトを継続しています。後輩たちの快適な学生生活への改善に向け、みなさまの理解・ご支援をよろしくお願い申し上げます。寄付の方法等については、7 ページをご覧ください。

#### ＜創立 70 周年記念式典・公演＞ ※入場者募集は、要項決定後に緑友会ホームページなどでお知らせします。

11 月 16 日（土）、体育館で開催します。第 1 部の式典は正午、第 2 部の公演は午後 0 時 55 分開演の予定です。

1、2 年生と教職員、来賓のほか、卒業生ら一般の入場も予定されています。

公演では、落語家の林家染二さん（普通科 23 期）、桂しん吉さん（芸能文化科 2 期＝普通科同窓は 40 期）、桂團治郎さん（同科 12 期＝同 50 期）、笑福亭呂翔さん（同科 22 期＝同 60 期）ら落語、講談関係の卒業生約 10 人がトークショーを繰り広げます。

昨年 11 月に校長と緑友会長に面会して出演依頼を受けた

染二さんは、その場で快諾するとともに他の方々への出演依頼協力も約束。

先述の 4 人は天満天神繁昌亭の舞台から創立記念メッセージも寄せ、緑友会ホームページ初の動画としてアップされています。



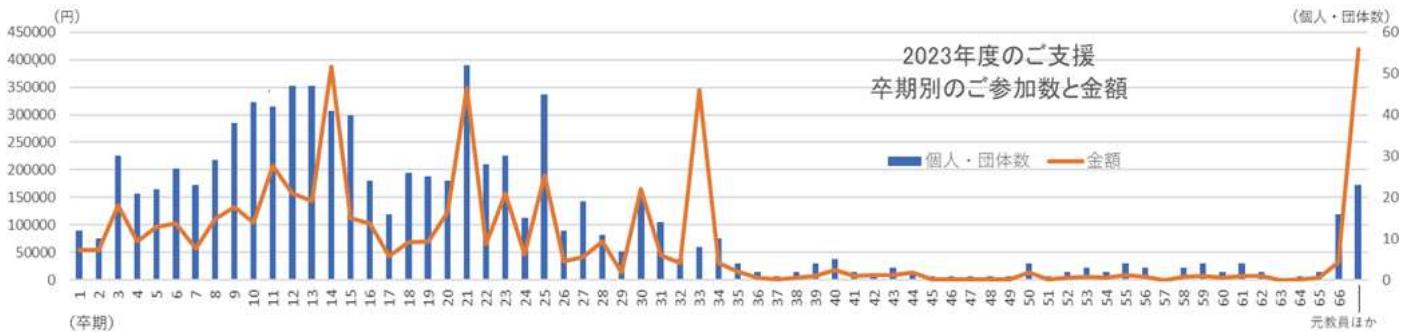
左から桂團治郎さん、笑福亭呂翔さん、桂しん吉さん、林家染二さん（天満天神繁昌亭にて）

## 昨年度のご支援は前年度の3.7倍、456万円(数字から見た傾向)

2023 年度に皆様から寄せられたご支援の総額は、456 万 3137 円 (966 人と 5 団体、延べ 1032 件)。創立 70 周年を控え、前年度の 122 万 3748 円 (245 人) の 3.7 倍と過去最大級になりました。

同窓会システムの導入で初めて可能になったコンビニ決済（応援会費相当の 2000 円限定）の利用は 586 件と全件の過半数。すそ野の広がりにつながりました。金額では郵便振込が 339 万 1137 円と総額の 73% を占め、お一人おひとりの力強いご意思が示されました。

参加個人・団体の平均は 4699 円。個人の最多は 33 万円でした。



## 後援会「みどり会」の活動、緑友会が継承

東住吉高校後援会「みどり会」が行ってきた母校支援の取り組みを緑友会が引き継ぐことになりました。みどり会が活動を休止したためです。すでに昨年度は、海外研修費の一部や全国・近畿大会出場クラブへの褒章金を緑友会が支出しました。今年度からは、新入生保護者からの寄付金募集を含めて緑友会が担い、支援を安定継続します。

みどり会は学校創立 5 年後の 1960 ( 昭和 35 ) 年、PTA の OB・OG 会として組織され、親睦活動と母校支援を続けてきました。

これとは別に 1994( 平成 6 年 ) には後援会が発足。両会は活動内容や主要メンバーが重なっていたことから 2019 ( 令和元 ) 年に統合され、後援会「みどり会」と称するようになりました。規約に掲げていたのは、教育活動、部活動、国際交流、学校行事への支援です。

しかし、コロナ禍で PTA 活動が制約されたことをきっかけに担い手となる OB・OG の確保が難しくなっていました。

### 創立70周年ごあいさつ



緑友会会長 川本 正人  
(普通科 21 期生)

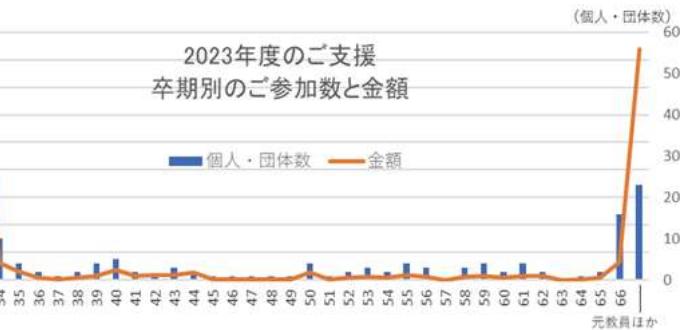


詳しくは右の QR コードから  
<https://ryokuyukai.club/2024/04/28/>  
創立 70 周年ごあいさつ

卒期別で見ると、参加最多は 21 期の 52 人。金額最多は元教員らとサッカーチームオーバー還暦 OB 会の 23 個人・団体から寄せられた計 41 万 8000 円。同期会などを開いた 5 期、11 期、14 期、23 期からのまとまったご支援も目を引きました。

全体をグラフにすると、30 期前後、55 歳前後から上の世代のご協力が顕著。会社勤めや子育てが一段落し、青春時代に思いをはせてくださったのかもしれません。

全体	1032 件	456 万 3137 円
コンビニ決済	586 件(57%)	117 万 2000 円(26%)
郵便振込	446 件(43%)	339 万 1137 円(73%)



## 着任のご挨拶

大阪府立東住吉高等学校  
校長 西田 恵二



初めまして。この 4 月 1 日をもちまして、萩原美由紀先生の後任校長として着任いたしました西田恵二 ( にしだけいじ ) と申します。昭和 30 年の創立以来、日本全国のあらゆる分野に幾多の有為ある人材を輩出してこれまで輝かしい歴史と伝統を有する東住吉高校に赴任し、大きな喜びを感じとともに、身の引き締まる思いであります。

本校では、文武両道をめざす「二兎を獲る」の理念のもと、日々多種多様な教育活動を展開しています。先人の方々がこれまで積み上げてこられたものを次の世代へと正しく伝えることに加え、これから時代の潮流を見極めつつ、文化、社会、科学技術等、幅広い分野において、将来、グローバルな視点と高い志を備えて社会に貢献できる人材の育成をめざし、教職員一同全力で取り組んでまいります。

緑友会の皆様におかれましては、今後とも、変わらぬご理解、ご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 北から南から

### 「かけがえのない 3 年間」

松熊 秀明（普通科 38 期生）



私は 38 期生です。在学致しましたのは 1992（平成 4）年 4 月から 1995（平成 7）年 3 月の 3 年間になります。2 年次に芸能文化科が設置され、3 年次には創立 40 周年記念行事式典が執り行われたのを覚えています。

今でも同じだと思いますが、体育祭が一番先輩と後輩が交流できる場でした。私はアトラクションに属し、校舎の横や長居公園で先輩から教わった踊りは今でも（たぶん）踊れます。

クラブ活動では理科研究部と山岳部に属していました。北野高校の生物研究会部を中心となり、大阪府下の理科を愛する（マニアックな）高校生が集まり、交流できたことは非常に刺激的でした。また、山岳部では石川県と岐阜県にまたがる白山に連れて行って頂き、ハクサンシャクナゲなど高山植物を観察することができました。

阪神・淡路大震災はセンター試験（現大学入学共通テスト）を受験した 2 日後に経験しました。校舎の壁やガラスにひび割れが起きたものの、教職員の方々のご努力により学生生活を続けることができたことが思い出として残っています。今もお世話になった先生や同級生と交流があり、年賀状のやり取りをしています。

現在、私は森ノ宮医療大学および大学院の教授として授業を持つと共に、学内外の研究者と共同で鍼灸にに関する研究を行っております。また、大学附属の鍼灸臨床センターにて鍼灸治療を行っております。鍼灸臨床センターでは腰痛、関節痛、頭痛、倦怠感、神経障害、睡眠障害などの症状を緩和させる目的で治療を行っております。鍼灸治療になじみのない方も多いと思いますが、鍼灸院や鍼灸整骨院はお住いの地域に数院あると思いますので、健康維持のためにご利用して頂ければと思います。

### 「私と絵画」

山幡 英示（普通科 12 期生）



展覧会にて 1 期吉田 先生（左）と記念撮影した筆者

幼稚園時代、巨大なキリンの絵を描いて、大そう褒められたことがきっかけで絵を描くのがおもしろくなり、小学 6 年の時、父が油絵の道具を買ってくれました。小さなキャンバスに絵ハガキを見ながら、雪景色の山を描いたのは、今でも鮮明に覚えています。

中学校では美術部に入部、大きなベニヤ板に油絵を描きはじめました。偶然にも美術部顧問の先生が属しておられた一般公募団体審査員の方に、私が描いて置いてあった絵が目にとまり、その団体の公募展に出品しました。

高校入学後も公募展に出品し続けていたため、美術部には入りませんでしたが美術部に友人も多く、顧問の矢野先生のもと魅力的な絵を描いていた友人の作品に刺激を受けました。

その後大学を出るまで出品を続けましたが、卒業し大阪を出るのを機に退会しました。そして研究していた植物のペン画や水彩画を描いていました。

高校の教員となり、今でも友人の美術の先生と 2 人で美術部顧問となりました。部活動でスケッチに付き添った際に見た奈良の廃屋に心を引かれました。かつて人々の生活を支え今では住む人もなく朽ちてゆく姿をとどめたく、今もスケッチを続けています。

中学時代の恩師のグループ展にさそっていただき、長く出品させてもらっていましたが、いつしか出品者も入れかわり、今では名目上主催者となり、教え子や口コミで出品してくれている若い人達の新鮮な感性に刺激を受け、年 1 回まるで同窓会のような雰囲気を楽しんでいます。



## 「純粹な気持ちを芯に」

### 山本 清美（普通科25期生）



同窓生の皆様、お久しぶりです。25期生の山本清美です。現在は、大阪市内で歯科医院を開業しています。

高校卒業後、大阪市立大学に入学・卒業後は一度企業に就職したものの、医学を目指し退職、再受験を志しました。

岡山大学 歯学部に入学し、若い同級生と試験と実習の嵐のような6年間を過ごし卒業後、大阪にて勤務医を続け、2007(平成19)年に独立開業に至りました。

数年前から、写真部の同級生に仕事を手伝ってもらったり、偶然、患者様が東住吉高校出身の方だったり、通院していたお子様が東住吉高校に入学したりと、ご縁とは不思議なものでした。

再受験を決断した当時の覚悟と行動力は、今振り返ると本当によくやりきれたな、と思います。気力と体力、そして何よりも未来に向かってのエネルギーに突き動かされていた日々でした。そんな私を支えてくれたサミュエル ウルマンの詩に、

「人は信念と共に若く、疑惑と共に老いる。」

「人は自信と共に若く、恐怖と共に老いる。」

「人は希望と共に若く、失望と共に老いる。」

という一節があります。

歳を重ねて大人になり理想だけでは乗り越えられない局面に遭遇した時、信念をもって答えを出せているのか？でもバランスも考えないといけない、と悩んだこともあります。

最近では、心の真ん中で、青春の頃に持っていた純粹な気持ちを「芯」に、その周囲にはこの何十年もの時間に経験した色々な学びをロールケーキのように巻いて自然に答えを導いています。まず「人」のことを第一に考え、周囲の方々への「感謝」を忘れず、「愛」をもって接すること、そんな当たり前に先人が言っていたことをしみじみ本当だなあ、と思っています。当たり前が「奇跡」なのだと思い続ける中にも「青春」はあるのでは？

## 「人と関わる仕事に就いて」

### 木下 裕一（普通科34期生）



34期生の木下裕一と申します。在学中は陸上部に所属していました。

大学卒業後は、少年院の法務教官として働いていたのですが、ロースクール制度が創設されたことをきっかけに弁護士を目指し、31歳で退職し、2009(平成21)年12月から弁護士として働いています。少年院で働いていたこともあって、現在でも少年事件、児童虐待、学校でのいじめ等の子どもに関わる事件に多く携わっています。

弁護士は、人のトラブルに首を突っ込む仕事ですが、トラブルで気持ちが傷ついた人、特に子どもに接するときは、法律の知識だけでは対処できず、自分の気持ちが削られることも多いです。また、個人事業者なので、収入とワークライフバランスをどのように考えるか、悩みも多いです。

趣味はいろいろありますが、長続きしているのは山登りです。25歳の時に富士山に登ったことをきっかけに、山登りを始め、現在まで細々と続けています。テント泊はしないですが、毎年夏には3泊4日程度、山小屋に泊まりながら北アルプスの山々を縦走登山していました。コロナ禍以後、山小屋が気軽に利用できなくなったので、本格的な縦走登山からは遠ざかっていますが、その分、季節を問わずに関西地方の山々を日帰りで登っています。

4年前に遅まきながら結婚し、枚方市に転居しました。年齢も50歳を超えました。今まで独身で子どももおらず、仕事に追われ地域社会とのつながりもありませんでした。しかし、残された人生で何か仕事以外のことでも活動したい、地域に根ざした活動をしたいと思うようになりました。仕事柄、非行少年や罪を犯した人と関わってきた経験を活かせる活動として、保護司をやってみることにし、2024(令和6)年1月に委嘱されました。自分と関わった人が少しでも幸せに近づけるよう、何かお手伝いができるれば、と考えています。



# 「再び霧ヶ峰を訪れて」

山口 文子（普通科18期生）

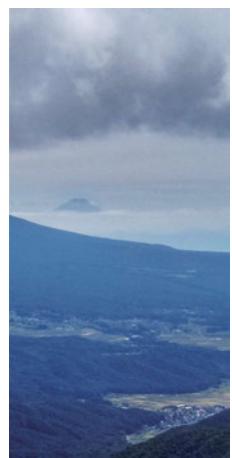


卒業してもう半世紀も経つのに、未だに忘れられないのが、入学した年の霧ヶ峰キャンプである。

この行事が何故忘れられないのかというと、それは、このキャンプで体験したことが、あまりにも非日常的で、当時の16歳の私にとっては、ある種のカルチャーショックの様なものを受けたからだ。

この体験は修学旅行に行くような情緒的な思い出とは全く異なり、まず食べられることへの有難さ。いかにまずくて、少なくて黒焦げになった食べ物でも、それを食さないと他に食べる物がないという選択肢。言い換えると、食べられたら何でも有難いということを身を持って知ったのであった。

次に大自然の美しい山々の風景の中でテントを張り、夜を過ごそうと思ったその矢先、大嵐となり、女子生徒たちだけが風が吹きすさぶ中を、山小屋へと避難してクラスメート達と一緒に夜を過ごした。



だが、怖さ知らずの私達は、怖い話をし合ってキャーキャーと無邪気に騒いでいた思い出も印象深い。

そんな画期的な思い出満載の霧ヶ峰に先輩方と訪れることが出来るとは夢にも思わなかったが、その夢が実現した。

16期生の吉川先生が全て計画して下さり、5期生の大先輩方3名と私と5名で昨年の10月に2泊3日の旅をすることが出来たのである。

吉川先生の車で、凡そ片道7時間の旅であった。体調を崩した私は2日目のメインである車山にリフトで登ることは出来なかった。

しかし、宿のほとりの白樺湖の辺りを散策し、湖畔のそば屋でおいしいざるそばを頂いた。そのおいしかったこと。

次の日は、車で山頂まで行き、美しいアルプスの峰々のはるか向こうに富士の姿を見つけ感動した。晴天の下の稜線の美しいこと。



また新しい思い出が出来た喜びと感謝の気持ちを胸にしまい、これから的人生の旅を弛まず歩んでいきたいと思う。

## 共生推進教室活動報告

共生推進コーディネーター 竹村 有加

共生推進教室は令和2年度から始まりました。今年度は1年生の入学がなく、2年生と3年生の計4名で様々な取り組みに挑戦しました。共生推進教室の取り組みの一部をご紹介します。

### <共生推進教室独自の取り組み>

- ・企業見学
- ・職場実習
- ・訓練校見学
- ・就労移行支援事業所見学・体験
- ・校内実習
- ・進路報告会
- ・大阪市一斉清掃クリーンUP作戦に参加
- ・文化祭に出店（手作り石鹼の製造・販売）
- ・モザイク壁画の作成・展示 など

今年度は共生2期生の1名が卒業となりました。2月に行った「進路報告会」では、東住吉高校で過ごしたかけがえのない3年間の中で大きな成長を遂げることができたことを、胸を張って語り、1・2年生に対しては、進路実現に向けて積み重ねてきた努力や苦労、在学中に身につけておいた方が良いことなどのアドバイスなどを話してくれました。後輩たちは、自らの経験・体験を交えて話すことで、後輩たちにとってとても良い刺激となっていました。今後も、このように先輩・後輩の繋がりを大切にしていきたいと思います。



## 卒業生のみなさまへ

卒業生のみなさまが勤務されている企業等で、職場実習の受け入れや障がい者雇用の受け入れをされている企業がありましたら、学校へご一報いただけますとありがたいです。よろしくお願ひいたします。

## 応援会費・寄付等のお願い

今年度は大阪府立東住吉高等学校創立 70 周年にあたります。先に記載のとおり、70 周年記念事業が展開され、また、昨年度より創立 70 周年プロジェクトとして緑友会館食堂のホール化改修にむけて寄付をお願いしております。

同封の宛名台紙にある 2000 円の表記のある払込用紙を使用してコンビニからご支援いただけます（8月末日まで。金額の変更はできません。コンビニからご支援いただいた場合、通信欄に加筆された内容は緑友会に反映されませんので、ご注意ください）。なお、この用紙は郵便局・ゆうちょ銀行でもご利用いただけます。

2000 円を超える額をご支援いただける場合には、同封の金額の記載されていない払込用紙（赤色）にて郵便局・ゆうちょ銀行からご送金ください。手数料はかかりません（1月 22 日より現金加算料金が廃止されました）。その際は通信欄の住所・氏名をご確認のうえ、必要に応じて加筆修正ください。また、卒業生以外の方は肩書きをご記入ください。

なお、緑友会報にお名前の掲載を希望されない場合には、振込用紙の匿名希望欄に☒のほか、緑友会ホームページの「マイページ」から「会費・寄付のご芳名掲載」を「希望しない」に設定されるか、緑友会事務局まで電話、メール等で連絡するかいずれかでお知らせください。

2022年度 決算書			
緑友会			
2022年4月1日～2023年3月31日			
取 入		支 出	
1 終身会費(66期)	1,580,000	1 底務費	290,842
2 特別会費	1,215,848	2 電話費	34,569
3 総会時の募金	7,900	3 インターネット接続費	22,968
4 利子	38	4 ホームページ維持費	93,500
		5 人件費	320,000
		6 光熱費	4,533
		7 会議費	31,592
		8 会報作成費	181,505
		9 会報発送費	1,315,254
		10 総会運営費	48,288
		11 同窓生支援費	0
		12 在校生支援費	265,925
		13 卒業証書ファイル費	0
今年度収入金額合計	2,803,786	今年度支出金額合計	2,608,976
前年度からの緑越金	8,549,519	次年度への緑越金	8,744,329
収入総金額	11,353,305	支出総金額	11,353,305

◆財産目録◆

エアクコン2台・冷蔵庫・電子レンジ・瞬間湯沸かし器・掃除機・電話&FAX・ノートパソコン3台・プリンター2台・卒業アルバム(1~66期)

差し引き残高8,744,329円は、2023度に繰り越します。

2023年6月7日

会長 木本正人

2023年6月7日

会計 告白

2023年5月31日

会計 前岡桂子

会計監査の結果、適正であることを認めます。

2023年5月31日

会計監査 山口文子

2023年6月9日

会計監査 糸井利則

## 応援会費 \*・ご寄付いただいた方々 2023 (令和5) 年4月～2024 (令和6) 年3月

敬称略

みなさまには温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。応援会費・ご寄付でいただいた合計金額は 4,755,137 円

(総数 1,077 件。会員外寄付を含む) でした。なお、記載させていただいた方以外に、匿名でご寄付いただいた方がおられます。

\* 昨年度総会にて会則改定を行い、入会以降の会費を応援会費と定め、これまでの特別会費は昨年度の経過措置として読替充当しております。

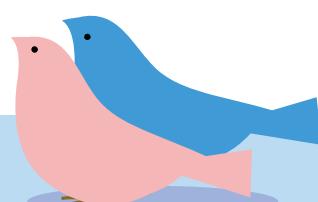
教員等	榊原 春子	黒川 節子	島橋 良征	吉田 圭子	阪井 トキ子	森川 道子	井上 政代
田中 健一	仁科 栄子	喜多 美子	辰巳 菘爾	長井 秀子	玉里 宏子	林 佑子	浅井 隆夫
橋本 啓一	尾久葉 恵勇	野田 知子	4期生	前岡 桂子	太田 弘子	逸見 良子	岡島 和彦
岡本 修治	津川 雅洋	福田 照子	鵜山 瞳子	森田 啓子	松木 恵子	西川 幸子	高橋 貢
中島 啓子	大路 為弘	井戸田 佐和子	滝 民子	宇野 幸子	佐野 陽子	伊藤 隆子	松井 順一郎
土井 一久	辻 拓也	三木 依子	寺本 祝子	阪口 恵子	森 孝栄	辻本 朗子	萬谷 吉生
森本 憲夫	川上 研助	中 貞子	吉村 昭子	米川 佳子	米井 昭次	木野 加津子	吉川 栄一
高辻 道久	吉田 正博	杉森 苑子	織田 由紀子	福田 小夜子	貞包 孝子	萬谷 尋子	吉原 照昌
高井 郁子	高橋 多紀子	小木曾 邦子	竹内 良子	田渕 建生	川村 淑子	田中 桂子	楠瀬 朗
兼田 照久	2期生	市地 道樹	中川 弘子	美濃部 光彦	清水 厚一	春名 勝郎	西村 憲治
森嶋 徳文	嶋田 千恵子	井上 朗	岩崎 肇	菅江 佳代子	野村 恵美子	米澤 秀和	松本 健治
奥舍 憲雄	園田 キヨ子	島 勝三	川井 治	藤井 昭	森口 義貴	遠藤 紀子	今井 佳子
西内 裕子	岩月 靖治	島崎 章	小林 清泰	光山 明夫	吉田 啓輔	山内 令子	松村 由紀子
萩原 美由紀	大内 登子	永井 誠一	柴田 喜四雄	野田 威子	木下 千栄子	見取 一成	山本 美智代
故 武藤 剛	岡崎 晴彦	二野 勇	菅生 穂	田中 和子	鬼頭 公子	坂本 豊次	荒木 義雄
松本 太郎	吉備 敬三	斧 玲子	石井 大三	久保出 博信	藤原 克志	田中 武仁	井上 保治
後藤 保二	塩谷 俊雄	香嶋 秀朗	太田 建彦	米代 実	井上 真司	森 二郎	柏谷 泰通
檜垣 修	松村 敬子	米田 誠治	武田 光之	中瀬 克三	杉本 喜一	有賀 昭義	長辻 慎一
片山 尚美	左納 悅子	西埜 慶子	岡島 徳男	中西 信之	谷崎 勝久	岡 一郎	橋本谷 弘司
田中 温子	3期生	内原 保正	松谷 朴重	6期生	堀内 満	米田 保彦	青木 快津
1期生	丸田 美津子	平尾 徹	井辺 正勝	小羽根 洋子	7期生	8期生	石山 芳彦
田中 たか子	橋本 輝子	田中 爽也	山田 雄三	山内 紘子	山下 綾子	塩崎 示樹子	松浦 貴志男
南 房子	石橋 淑子	吉岡 洋三	5期生	押条 照子	河内 恵美子	琴 吏恵	松下 茂
中島 早苗	酒井 幸子	佐藤 和弘	岩崎 澄子	東 雅子	高田 純子	菊田 慎二	吉田 望

## (応援会費・ご寄付いただいた方々)

9期生	武内 優子	古川 裕生	多喜 秀子	小西 久美子	川口 香寿美	芝本 宏一	辻 正行
井上 耕二	田村 愛子	諫山 千恵子	田中 小夜子	竹川 節子	佐藤 千恵子	安岡 恵子	新熊 三恵子
千葉 優	園木 紀代子	酒井 喜代美	森 恵以子	小川とみ子	但馬 利通	辻川 栄子	青木 敬司
沢中 吉洋	岡本 幸志	井上 一美	13期生	太田 勝久	三代 博司	青井 一登	高橋 邦尚
村田 肇一	西部 壽一	橋本 真一	東島 昌子	奥野 秀郎	春日 桂子	山村 亮	渡辺 豊子
山下 英子	森岡 正行	引田 恵	浜田 みどり	清水 保	裏久保 英明	平尾 寿美子	成島 智子
小野 哲利	藤富 悅子	山崎 勇	谷 富代	武林 茂樹	瀬川 常輝	新井 基文	五十嵐 公一
小西 正嗣	西田 容子	勝亦 良彰	田中 茂男	広沢 仁	竹山 宏之	内本 由美子	丹野 博
代田 和一	酒井 文子	喜多 啓二	泉竝 善一郎	附野 忠彦	鶴田 昌宏	奥本 博典	野澤 宏彰
松井 美知子	眞伏 富子	横田 伸敬	北野 博昭	小岡 久子	米澤 泰夫	新井 久美子	21期生
杉本 多賀子	福島 鈴代	斎藤 公治	中森 一郎	河村 和代	粟飯原 卓司	山口 文子	柏田 賢次
石橋 依子	清水 照代	寺崎 信	早川 正人	葛城 義久	宇賀 和男	狭間 保弘	桑木 昌
吉田 寿子	横山 明美	米澤 正昭	前田 史	鈴木 健氏	尾張 巴喜雄	池端 恒夫	柴谷 奈津子
中村 勝栄	小谷 久美子	12期生	吉村 登代子	西谷 孝子	渡辺 敏	井上 毅	天見 邦子
島山 哲	松川 淑子	北野 公三	福山 隆之	岩井 良子	和田 正明	小杉 英了	川本 美奈子
安渕 寛	松尾 陽子	島 恵治	三山 峻司	飯上 和子	16期生	日高 貴志	福本 弘子
福嶋 和子	灘 正子	田村 博志	広瀬 和枝	康 龍治	秋月 宗則	平尾 和久	屋木 清孝
生田 和子	桑田 新司	土居 文夫	赤塚 東一	森井 利行	東 利也	久米 紀之	栗部 真実
植田 俊	石山 敏明	荒川 富佐子	板岡 順一	吉田 博和	伊東 康雄	渡辺 克美	峯山 繁樹
金森 泰子	喜多 忠	龍田 譲次	應治 政弘	下村 慈	矢野 えり子	金 敬三	十野 美幸
守山 町子	久保 恵昭	林 謙二	太田 博	奥座 英一	吉川 憲司	19期生	河村 薫
野田 美枝子	吉内 久雄	坂田 繁数	笠原 信二	西口 昌宏	阪口 貞代	田井 啓之	平井 千恵
馬場 玲子	岩田 吉光	藤田 好男	戸松 隆志	尾藤 育生	淡路 邦弘	中野 末良	岸田 浩
引間 正彦	善田 均	岡村 次雄	中西 博雅	守田 彰	田中 泰子	藤本 新司	吉村 俊一
矢野 嘉彦	宮田 博	小出 富晴	森崎 順路	草開 佳世子	松村 公子	文野 博行	伊東 正江
松本 吉丈	11期生	安田 重信	井上 利昭	田中 佳代	佐橋 武	岩永 美千代	渋谷 淑子
大野 嘉一	城下 牧男	山本 佳顕	上嶋 賢昭	加藤 治樹	福島 教夫	西田 和則	児玉 由紀子
山下 讓二	深田 佳成	瀬川 和秀	波床 裕子	藤原 久子	大畠 信子	中野 圭子	中津川 貴子
竹田 久仁子	溝口 恵美子	田村 芳晴	大西 益利	河合 謙司	田中 高子	穂田 薫	尾崎 泰造
沢田 八重子	宮崎 由美子	野村 威比古	加治 雅彦	中川 雅司	二藤 徹	西野 宗一	西谷 昌幸
古川 桂子	吉延 初美	宮武 利正	田中 義信	吉川 亨	島 瞳実	前田 典子	加賀 由起子
松本 瞳子	渡邊 美代子	岡部 操	岩永 裕子	別府 隆之	中澤 悟	桑原 康宏	樋口 みさき
岡村 幸子	岡島 基広	篠崎 みや子	奥野 隆司	15期生	阪口 優夫	綿谷 登	古賀 誠治
朏 幸子	塩見 順一	川井 順子	佐々木 豊	高橋 真理子	中畠 裕	岡島 峰	島本 一彦
岡本 美恵子	村上 芳明	山本 典子	中野 茂	小西 祐子	17期生	吉田 幸三	中川 太
堀 妙	櫻尾 克子	武者 節子	浜村 茂	東元 恭子	田中 多賀子	豊田 雅弘	中官 千秋
奥田 宣子	富永 かなみ	松成 直樹	室田 芳万	吉田 容子	山本 博之	大石 真士	中川 美知子
10期生	柴田 研二	北野 江里	野崎 裕子	斎藤 勤	大河内 日登美	清生 明宏	近松 恵子
伊藤 伸一	岡 請蔵	北浦 絹代	西川 加津枝	島崎 幸司	中澤 由美子	杉江 一郎	桑山 政明
辻 孝史	福塚 信秋	大西 健	北出 厚志	吉田 有香子	井原 義則	登佐 博行	中野 純子
寺田 周一	小川 恒子	津川 伸幸	佐伯 博文	川崎 敬司	福田 耕士	服部 博	酒井 美子
木田 順子	隅田 純子	山本 節子	辻野 卓治	大矢 節子	角崎 愛子	20期生	佐々木 環
魚森 敬子	本吉 幸子	岩本 正博	北田 修一	上根 哲朗	節川 真二	松原 美穂	西川 聰子
山内 伸威	大土居 隆夫	山口 芳美	阪中 計夫	村上 幸一	渡辺 義信	青木 宰子	竹中 宏
延命寺 美知子	辻田 省三	大給 孝明	寺田 丈男	山本 健司	河村 恵美子	佐野 一郎	西川 正史
大橋 裕子	村井 明	小山 昇孝	兵庫 將夫	油本 隆子	田中 賢治	平林 伸一	沢 弘明
村本 俊子	米山 峰	森木 秀樹	広瀬 芳和	丸矢 泰郎	田中 二郎	前田 卓哉	宮谷 隆二
國末 公英	佐々木 純子	矢野 豊伸	小畠 恒夫	山内 美紀	松浦 弘尚	牧野 行雄	赤鹿 義訓
中尾 卓二	森本 順子	山崎 洋	宮田 宏	佐藤 由美子	宮崎 壮乃佑	阿蘇 佳子	川本 正人
森下 良一	北村 純	林 繁二	14期生	越山 久雄	18期生	大橋 治夫	黒石 浩之
大村 洋子	渋谷 譲	深山 青三	島田 耕一	松井 廉子	岡田 正次	萬成 幸子	出野 俊之
清水 典子	西村 貞男	西口 法子	五百蔵 成夫	林 雅一	富田 靖子	上本 龍彦	中官 弘行
清島 直美	松本 秀敏	山本 洋子	井上 陽子	梶原 千恵子	高井 美恵子	藤井 優子	西田 美徳
寺田 正秀	池田 博之	高橋 晴美	内田 美和子	杉谷 広枝	河瀬 宗次郎	峯松 美智江	西本 章

## (応援会費・ご寄付いただいた方々)

松井 厚	佐野 健	藤原 昭子	正本 明	片岡 一彦	35期生	中津川 昂平	61期生
松下 嘉光	新海 宏枝	津本 信一	古賀 正恭	新井 直美	松澤 千枝	51期生	大鹿 和真
22期生	松田 裕子	中村 和久	大田 義信	福尾 葉子	波多辺 真伊	吉川 晃平	川本 岳史
脇田 佳見	祐野 修	福田 美智子	水谷 奈津子	岡本 美紀	植山 治	52期生	和田 悅宜
大山 真理	松尾 嘉明	市橋 欣也	27期生	長間 陽子	藤岡 義生	中瀬 一貴	横本 栗
服部 めぐみ	中村 久美	25期生	藤井 尚子	米良 加寿美	36期生	阪田 美里	62期生
山根 章子	江口 一郎	木村 信之	榎原 嘉巳	植松 秀和	北野 量平	53期生	上野 沙季
大倉 潤一	坂本 正洋	高山 愛二	中森 敬子	阪口 治	杉森 匠司	舛 圭太	渡真利 夏帆
田中 一人	福井 真由美	松岡 滋	足立 綾子	阿久 賀典	37期生	金澤 佑美	64期生
脇田 由美子	西田 治	山崎 真寿美	岡本 好洋	津谷 泰弘	塙原 正雄	矢路 夏未	土居 潤平
浜田 圭子	安井 洋之	挾間 禎晴	西田 雅之	31期生	38期生	54期生	65期生
田中 登紀	池内 広幸	藤井 素子	野田 俊広	井上 彰人	坂田 英敏	竹原 智美	谷口 聰
小笠原 敦美	石川 尚	近松 尚子	古本 敦士	桑江 郁夫	中川 勝文	新内 ひとみ	吉内 勇人
柳下 文彦	今川 弥生	田中 真弓	山岡 万貴子	森本 美津子	39期生	55期生	66期生
野口 祥乃	岡村 勝行	後藤 勝徳	丸野 真澄	荒堀 法義	橋田 倫子	上杉 真央	増尾 志歩
秋山 久美	北川 昌幸	三木 佳名子	高木 直樹	萩原 泰之	松井 利裕	川上 万里萌	大畑 来未
寿川 佳世子	工藤 千恵	北野 恵子	重田 あゆみ	見玉 純	石井 竜二	山岡 優子	中尾 鳩仁
平下 圭子	久保 智子	石走 裕子	松本 雄一郎	河井 千春	40期生	名倉 賢吾	原 夏海
国方 薫	坂平 均	渡真利 由香	前田 耕一	松村 力也	末浪 芜樹	56期生	内川 瑛介
池上 万由美	芝田 安弘	中西 裕希恵	越村 みちよ	廣瀬 正美	西田 弥須子	澤田 賢宗	小川 唯斗
宮本 多恵子	杉原 浩美	安田 美穂子	28期生	荒地 良典	森 梢	庄野 彩乃	吉田 菓々美
笠置 修	角川 弘史	沖 佐代子	久下 英孝	岩井 將晃	森田 求実	58期生	京田 佳和
吉川 净	田畠 妙子	西木 澄江	青島 優仁	森 真啓	41期生	森本 有美	久山 秀和
勝賀瀬 玲子	塙崎 仁孝	吉永 由紀子	狹霧 哲哉	32期生	青山 哲也	岩本 明日佳	山口 拓海
宮本 有加	中川 隆央	富田 久晶	亀井 真由美	杉村 一弘	西田 充孝	谷口 理樹	古川 喜一
大澤 麗子	中田 泰弘	鬼塚 光晴	松本 尚美	川村 雅博	42期生	59期生	久保田 拓海
樋口 清士	西川 玲子	竿本 卓彦	平岡 理弘	谷元 修	白附 聖	奥田 紗季	中尾 綾人
23期生	藤井 啓之	佐藤 達也	今野 美保	中村 一郎	43期生	齊藤 愛海	中村 虹乃
宇佐美 雅己	藤岡 秀雄	出水 宏昭	荒木 宏之	33期生	西田 佳代	高田 侑	松本 花菜
藤野 幸治	松多 隆雄	山本 広宣	金沢 健博	友岡 夕佳	北村 浩一	60期生	
太田 和秀	三浦 大五児	井村 泰夫	29期生	野村 太加子	44期生	原田 康平	
隅田 正樹	三浦 賀子	奥田 直彦	成清 朋子	城 進	山下 春輝		
丹羽 貴士	宮沢 育子	辻本 雅宣	三輪 尚子	明平 英樹	45期生	5期生一同	
岩田 徳子	村井 信夫	藤澤 憲次	橋本 真利	堅固 政斗志	伊与田 真弓	11期会一同	
岩渕 健二	毛利 美穂	松本 善悟	中野 敦之	木本 直樹	46期生	14期生古希同窓会参加者一同	
有井 隆	山内 弥生	阪倉 康之	福田 哲也	新庄 一範	加藤 奈穂子	サッカーチームオーバー還暦OB会	
野口三四郎	山本 浩之	那須 幸司	田中 秀二	眞鍋 忠喜	47期生	2024(令和6)年度入学生保護者	
山口 正晃	24期生	西田 正	藤永 雅子	34期生	吉田 愛		
山本 豊	森下 圭造	26期生	30期生	眞鍋 和子	48期生		
今村 信行	杓谷 公江	山口 博功	山口 裕子	朝田 賢次	山城 一真		
浜田 裕一	橋本 千春	菊地 民恵	貫見 大輔	松村 和弥	50期生		
西谷 朗子	河内 忠司	倉橋 里美	田川 智子	杉本 一弥	木下 真奈未		
谷口 芳子	松森 圭子	甲斐 義一	寺岡 真理子	山本 貴昭	中野 真由美		
大坪 博恵	上嶌 誠	斎藤 保	藤原 友美	高橋 哲也	溝口 勝也		
糸井 利則	武藤 千恵子	田中 昭人	百田 一恵	(桂園治郎)			



## 会費・寄付金等の主な使途

いただいた会費及び寄付は、通常は会の運営費（総会費用や通信、会報等広報）に使用されるほか同窓会開催支援を行っています。また、現役生に対しても部活動などへの支援、卒業証書ファイルの提供、国際交流など学校生活の充実・進展を他団体とともにしています。

特に、昨年度は70周年記念プロジェクト事業として緑友会館1階食堂の多目的ホール化改修を提起して、みなさまから協力をお願いしました。本年度の寄付と合わせて改修費用に充てられる予定です。

## 緑友会ホームページの「マイページ」登録はお済みですか

緑友会会員である卒業生お一人おひとりのつながりをもとに母校発展のための活動を行っている緑友会。そのつながりを支える情報インフラがホームページの「同窓会システム」です。

かつて存在した印刷本「卒業生名簿」からデータによる名簿へと切り替えたのが2000年の頃。その後、毎年卒業と共に増える会員の新規入力、転居などによる住所変更などの名簿更新は事務局による手入力で行なってきましたが、今や2万8000人を超える会員の名簿の最新化や更新、守秘などをパソコン上で行うに

は限界があり、昨年より会員ご自身で最新の個人情報を入力いただく電子名簿「同窓会システム」の運用をスタートさせました。

登録者数が徐々に増えていく中、まだご登録いただいている卒業生の皆様にはこの機会に是非手続きいただきますようお願いいたします。

登録いただいた個人情報を広く会員に公開する、しないについてご自分で細かく設定が可能ですので安心して登録していただけます。スマートフォン、パソコン、タブレットでご登録ください。

### 同窓会システム登録の手続きのしかた ①東住吉高等学校緑友会ホームページへアクセス

大阪府立東住吉高等学校緑友会

<https://ryokuyukai.club>

これで検索、または右のQRコード、または今回お送りした封筒の下にあるQRコードを読み込んでください。



#### ②トップページのマイページをタップ（クリック）

The diagram shows the transition from the main website menu to the login form. An arrow points from the 'My Page' button on the left to the 'Login' button on the right.

ログイン画面に会員コードとパスワードを入力しログインをタップ（クリック）開いたページでお名前、連絡先などの基本情報を入力します。近況報告やご自身で運用しているホームページやSNSなども是非紹介してください。

各々公開の範囲を選択することができます。

会員コード、パスワードが不明でログインできない場合はログイン画面の下に記載している案内に従いメールあるいは電話でお問い合わせください。メール返信または電話でお知らせいたします。

なお会員コードは今回お送りした宛名面に記載しています。昨年6月にお送りした緑友会報第41号の送り状を保管されている場合、宛名面に会員コード・パスワードを記載していますのでご確認ください。

### 同窓会システムでできる主なこと

ご自身の情報登録、あるいは更新	お名前、住所や勤務先、Emailアドレス、電話番号の新規登録あるいは変更。
事務局からのお知らせの閲覧	母校のイベント、緑友会が企画する催事の案内などをご確認ください。
同窓会などのお知らせと出欠の回答	クラス会、同期会の開催情報とそこへの参加、不参加を回答することができ、これまでの往復ハガキ等による出欠通知の迅速化につながります。
会員の検索	級友や先輩、後輩は今？ 公開制限内で情報をご覧いただけます。
Web総会の開催	緊急時にオンラインで総会を開催、議案についての賛否投票が行えます。

ホームページやマイページの情報、その充実化は母校の発展を支援する緑友会活動の活性化へとつながっていきます。東住吉高等学校のさらなる発展と会員相互の交流のため登録と日常的な活用をお願いいたします。

## 芸文 TOPICS 新入会員に芸能文化科を語ってもらいました

今回は、芸能文化科について今年卒業された新入会員の2人に振り返っていただきました。なお、原稿は12月にお願いしたことから、進路等に予定が含まれていますことを予めご了承ください。

### 「私が芸能文化科に入学した理由」

**土肥 紗菜（芸能文化科29期生）**

私が芸能文化科と出会ったのは、行きたいと希望していた高校が統廃合になることを知ったからでした。

中学3年生の夏のことだったので、急いで他の高校を調べている時に「日本で一つしかない学科」というのが目に飛び込みました。高校の授業のカリキュラムの中に箏や三味線、照明や音響の機材の使用などがあるというのを見て釘付けになり、その勢いでオープンキャンパスを申し込みました。

実際に行ってみると学校に大きなホール、本格的な機材の数々、積極的な先輩の姿などに感銘を受け、ここに行きたい！と目指し始めました。

無事に合格を果たしましたが、クラスに馴染めるかどうか、専門授業を積極的に学べるかという漠然とした不安が立ち込んでいました。しかし、そんな私を受け入れ、認め、励ましてくれたのは紛れもなく先生方や仲間たちでした。

たくさんの挑戦や選択の機会を与えてくれたからこそ色々な事に挑戦できたり、自分も知らなかつた違う自分というものを開花することができました。

中学生の時の陰々として下を向きがちだった私はもういません。自信を持って色々なことに挑戦する姿勢、人前でも臆さない堂々とした気持ちが今の私の武器となりました。

進路は芸能文化科とは関係ない法学部に進もうと考えていますが、大学でも積極的に学びに取り組み、諦めせず社会に飛び込んで行きたいと思います。



### 「卒業を控えて」

**米田 圭賀有（芸能文化科29期生）**



はじめまして。芸能文化科29期生の米田 圭賀有(かがり)です。

つい最近入学したばかりな気がするのに、思ったより時間が過ぎるのが早く、今この原稿を書いている私はもう卒業を間近に控えています。

今日は私がこの3年間、芸文で何を学んだのか、これからどうして生きたいのかについて少し書こうかと思います。

芸文に入学すると、1年生の文化祭、新入生歓迎会、2年生の文化祭、卒業公演、選択授業発表会、と大きな5つの舞台があります。この他にも箏曲の発表会などもありますが、先程あげた5つの舞台は、裏方も含めてすべて私達芸文生が分担して行います。

私は1年生のときはずっと裏方をやっていて、初めて演者として舞台に立ったのは2年生の文化祭で寄席をやったときでした。裏方の大変さと大切さを知った上で立った初舞台で、とても感動したことを覚えています。

芸文で私達が何を学んでいるかというと、「表現すること」だと思います。日頃の授業では、どうしたら良い表現ができるのか、お客様に伝えたいことが伝えられるのかについて、様々な視点から学びます。演劇、芸能の歴史や伝統芸能、音響や照明といった舞台技術の授業を通して様々な表現技法を学び、実際に舞台を作り上げていきます。

その中で私は、みんなで一つの作品を作ることの難しさと面白さを知りました。そして、俳優になりたいと強く思うようになりました。

私は大学では映画学科に進み、より深く表現や演劇について学ぶ予定です。これからも芸文で学んだことを活かして、たくさん学んで、大好きな仕事を仕事にできるようにがんばります。



恩師より

「今も続く関係、思い出深い 10 年間」

五島 満朗 先生

【1973(昭和 48)年～1983(昭和 58)年 化学、地学】



私が東住吉高校に勤務させていただいたのは昭和 48 年度～同 57 年度でした。その間、化学と地学を担当させていただきました。まことに思い出深い 10 年間でした。平素の生徒の皆さんとの授業を通しての交流や、修学旅行の「霧ヶ峰」、学園祭、どれも生涯忘れることが出来ません。

私も 88 歳米寿なればを過ぎ、おかげさまで一応の

健康を保っています。現在も、ものぞきが集まり市民会館で仏教書を中心に読書同好会も細々ながら続けています。

そして何よりも感謝の念で過ごさせていただいているのは、卒業生の T さんや K 君から今もなお、年賀や季節のたより、そして時々訪ねてくれたりする心遣いをいただいていることです。

世界も日本も今、大変な状況になっていますが、少なくとも今、平穏な日々をすごさせていただいていることを感謝しています。

## 現役の先生より 「ヒガスミサンデーモーニングサイエンス」 至田 雅一 先生



私は 2007 年、普通科 53 期生、芸能文化科 15 期生が 1 年生となるときにヒガスミにやってきました。ふた昔近くも前のことになります。この年に一緒に赴任してきた同期の清水先生（英語）、深井先生（理科）、富田先生（体育）、島本先生（社会）は私と同様、未だにヒガスミで健在です。皆、ヒガスミで教員として最後を迎えるであろう骨董品のような存在です。

当時休眠状態だった「理科研究部」の顧問になり活動を再開させ、その後「空手同好会」（現在「空手部」）も創部させてもらいました。当初「理科研究部」での主な活動は私が事務局を担当していた「青少年のための科学の祭典大阪大会」の運営補助、またその関連の「万博公園での野外実験」に「ドラム缶潰し」で参加することでした。2012 年の秋、部員から「自分たち

で『科学の祭典』や『万博実験』のようなことをやってみたい」という提案があり、当時の萩原教頭先生のご協力もあり 2013 年 1 月に始まったのが「ヒガスミサンデーモーニングサイエンス（HSMS）」です。

「H SMS」はその名の通り日曜日の朝に行う、近隣の小学生対象の理科実験教室です。講師は部員。実験内容の検討から材料の準備なども部員が中心となって行います。年に 6 回～8 回実施し、保護者を合わせると毎回 30 名～50 名ほど参加者がいる人気企画です。2024 年 1 月実施の実験教室で第 65 回になります。

実験前の準備を部員皆でどれだけ詰めていけるかが「本番成功」の鍵になります。本番前日のシミュレーションで新たな課題が発見され再準備することもあります。手間暇かかる活動ですが、参加者の「喜びや驚き、感動、感心の声、表情、感想」が部員、顧問の活動のエネルギー源でもあります。残されたヒガスミでの期間、部員と共に「H SMS」を続けていきたいと考えています。



教室で行われた親子で体験する実験の様子。現役生が説明・指導している。



野外で行ったドラム缶を大気圧で潰す実験。参加者から驚きの声が上がる。

# 進路状況 摺らぐ価値観の時代、勉強自体の価値を追い求めて

進路指導部長 横幕 はるな



今年度、高校1年生の進路希望調査において、「4年制大学」を希望する生徒が減少しました。嘆く私に、ある担任の先生がかけてくださった「今の生徒は、必ずしも大学に行くことが正解と思っていないんじゃないですか。それは一つの価値観として、よいことではないですか。」という言葉に、膝を打ちました。

様々な価値は揺らいでいます。鋭敏な感覚を持った本校生は、それを感じ取っているのでしょうか。自身の時代を感じる感覚の鈍感さを反省したことから始まった、進路部長としての初年度でした。“society 5.0”と言われる中、どこかで他人事と悠々閑々とし

ていたら、自分の職業がなくなるかもしれない実感するほど、世の中はすごいスピードで進んでいます。

ただし、ひとつだけ変わらないことは、勉強それ自体の価値だと思います。高校で学ぶ5教科を中心としたあらゆる科目が生徒の中で体系的に結びついた時、多角的に物事をとらえ、答えのない問題に立ち向かい、誰一人取り残さない社会の実現に貢献できる人間になれるのではないでしょうか。

受験勉強を通して「努力」したことに意味があるのではない。「成功体験」をさせるために受験勉強させているのではない。勉強は手段ではない。勉強自体が目的である。それが私たちの進路指導の現在の答えです。

今後もO B・O Gの皆様にとって、より誇れる母校とするために進路指導部一同尽力して参ります。

## 合格状況

2023(令和5)年度 67期生・芸文29期生・過年度生

( )は過年度生、内数

### 国公立大学

神戸大学	2	大阪工業大学	38
大阪公立大学	5(1)	同志社女子大学	15
和歌山大学	6(1)	関西外語大学	30
大阪教育大学	5(2)	摂南大学	53
兵庫教育大学	1	追手門学院大学	76
滋賀大学	1(1)	大和大学	14
鳥取大学	1(1)	京都外国语大学	6
愛媛大学	1(1)	甲南女子大学	11
徳島大学	1(1)	四天王寺大学	6
高知大学	1(1)	神戸女学院大学	7
長崎大学	1(1)	大阪経済大学	13
水産大学校	1(1)	桃山学院大学	10

### 私立大学

同志社大学	25	森ノ宮医療大学	15
立命館大学	17	神戸学院大学	2
関西大学	98	神戸女子大学	8
関西学院大学	24	千里金蘭大学	2
近畿大学	200	大阪経済法科大学	7
龍谷大学	98	大阪芸術大学	2
京都産業大学	2	大阪女学院大学	1
甲南大学	4	大阪青山大学	3

### 専門学校

ビジュアルアーツ専門学校
放送芸術学院専門学校
マロニエファッショントレーニング専門学校
大阪労災看護専門学校
H A L 大阪
大阪スクールオブミュージック専門学校
専門学校E S P エンタテインメント
大阪E C O動物海洋専門学校
大阪医療センター付属看護専門学校
大阪ブレーメン動物専門学校
大阪バイオメディカル専門学校
大阪ウエディング&ブライダル専門学校
キャットミュージックカレッジ専門学校
大阪芸術大学付属美術専門学校
大阪医療センター附属専門学校

### 短期大学

関西外国語大学短期大学部	3
四天王寺大学短期大学部	1
大阪キリスト教短期大学	1
藍野大学短期大学部	1
大阪女学院短期大学部	1
大阪城南短期大学	1

### 公務員

国家一般	1
大阪府職員	1
大阪市職員	1

## 教職員の異動（敬称略）

### 転入・新規採用

西田 恵二	校長	天王寺高校より
和田 雄樹	教頭	教育センターより
細見 和史	数学	藤井寺工科高校より
片岡 紀子	英語	教育センターより
山田 明輝	英語	
奥野 隆博	理科	布施高校より
熊本 義之	理科	新規採用
佐藤 紀子	社会	東住吉総合高校より
砂田 瑞貴	美術	福井高校より
矢奥 雅子	家庭	市岡高校より
高橋 和城	保育	
中橋 八重子	事務	大手前高校より

### 転出・退職

萩原 美由紀	校長	退職
粉生 英明	教頭	刀根山高校へ
田中 唯斗	国語	退職
森山 達也	数学	西成高校へ
土方 百々花	英語	布施北高校へ
小林 昌平	英語	退職
國府 健児	理科	茨木工科高校へ
島本 和彦	社会	退職
藤原 葉月	美術	退職
田中 温子	家庭	退職
二川 孝志	事務	都島工業高校へ



## ヒガスニュース

### 体育祭がついに公開開催されました



2023(令和5)年5月21日、体育祭が公開の形で開催されました。昨年は原則関係者のみでしたので、事前予約制とはいえ、一般公開での開催は4年ぶりとなります。

今回は白、青、赤の3団体制で、それぞれ「白タン」、「敢為邁往（かんいまいおう）」、「ノア（の箱舟）」と名づけられたマスコットが晴天に映える中、はつらつとした大会となりました。

当日、緑友会はイラストカードの販売のほか、70周年記念事業の案内・募金を行いました。



### 母校に応援うちわが寄贈されました

10期生の森岡 正行さんから応援うちわ1000本が母校に寄贈されました。

応援うちわは、硬式野球部が創部を機に、10期生の仲谷さん、三木さん、森岡さんから1000本寄贈されましたが、校歌の歌詞に一部脱落があることが分かり、今回作り直しのうえ改めて寄贈されたものです。

「13年の間に仲谷、三木両君は既に逝き、一人での寂しい贈呈でした」と森岡さん。後輩たちを応援する活動がこれからも続くことを強く望んでおられました。

### 寄贈された桜が鮮やかに咲きました

昨秋、プールの前の中庭に、3期生の島崎（田中）章さんから寄贈されたしだれ桜が植えられました。島崎さんは1964年の東京オリンピックに110m障害の選手として出場された方です。



今年入学された70期生の生徒さん達を迎えるかのように、無事に根付き、鮮やかな花を付けました。これからも後輩の現役生の未来をずっと見守ってくれることでしょう。

ホームカミングデイにキッチンカー登場！創作いなりや豚汁でチャリティ100kmリレーマラソンを盛り上げました

2023(令和5)年

11月11日、チャリティ100Kmリレーマラソンが行われるこの日を、緑友会はホームカミングデイと定め、

現役生へのエイドステーションとして、飲食物を提供してきましたが、今年は久々に手作りの食品を提供しました。

21期生の伯井 弘行さんにお願いして、キッチンカーを出していただき、創作いなりの製作指導をお願いしました。また、豚汁を作成、セットで提供しました。

暖かくて、ボリュームもあるこのセットは現役生に好評で、一時は

セットが追い付かないほど、盛況でした。



### 大会出場の部活動に激励金を手渡しました

緑友会では、近畿大会以上に出場した部活動に対して激励金を手渡しています。

令和5年度では、全国高等学校総合文化祭鹿児島大会書道部門に



出場した重村花さん、近畿大会に出場した女子バレー部に交付しました。

### 全国高等学校総合文化祭参加の重村花さんからの寄稿

私は令和5年8月に行われた第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会の書道部門に出場させていただきました。まさかこの大会に出させていただけるとは思っていなかつたので、顧問の先生から聞いた時には驚きました。

私は今回、伝西行筆「中務集」という仮名の古筆の臨書をしました。今まで書道の経験が学校の授業程度だったので、最初はまっすぐ細く書くことすら難しくて苦戦しましたが、約半年間練習し続けた成果が全国大会出場という形で得られとても嬉しかったです。

私を書道部に誘ってくださり、全国大会含め様々な経験をさせてくださった顧問の先生には感謝しかありません。ありがとうございました。

## 満を持して同窓会続々開催

コロナ禍により、久しく開かれていた同窓会が続々再開されています。同窓会を開催される際には早めに緑友会までお知らせください。

### ・22期3年4組クラス会

5/21(日)天満橋ダイニングバー「マメノキ」  
コロナ禍により2年間延期していた、いわゆる還暦同窓会をにて実施しました。

### ・33期同窓会 5/27(土)都シティ大阪天王寺

コロナ禍のため延び延びになってしましましたが、文字通り全国津々浦々から 54名の方が集まり、旧交を温めました。



- ・5期同窓会 9/13(水)あべのハルカスアサヒビアケラ
- ・14期古希同窓会 10/15(日)都シティ大阪天王寺
- ・25期3年10組クラス還暦同窓会

10/28(土)大阪新阪急ホテル

### ・47期同窓会 2/11(日)トゥッフェ(TUFFE)大丸心斎橋店



恩師2名を含む総勢40名が集合しました。

・25期還暦同窓会 3/30(土)都シティ大阪天王寺  
同窓生142名、恩師9名の合計151名の方々が参加されました。今回の同窓会ではミュージシャンとして活躍されているベーシストの西川サトシさんにJAZZの演奏を行っていただきました。恩師の先生方にもお言葉をいただき、校歌齊唱、集合写真を撮って終了となりました。



### ・24期還暦同窓会

5/11(土)ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター

## 2023(令和5)年総会開催

### 創立70周年事業・同窓会システム導入が始動

2023(令和5)年6月25日、緑友会総会が平野区画整理記念会館で開かれ、全議案が可決、承認されました。

これにより、前年度から準備を進めていた「同窓会システムの導入」「ホームページの改修・活用」「創立70周年記念事業の実施」の3大事業が本格的に始動することになりました。

会と母校の未来にかかるテーマが盛りだくさんだけに、ご発言も例年になく多数いただきました。コンビニ振込用紙などの印刷・同封で膨らんだ会報関連費用や、一層のご協力を願いしている会費の位置づけ、といったお金に関するご質問のほか、環境対応へのご提言、会則運営の詳細ご確認などもありました。寄せられました声は、今後の会運営に生かしてまいります。



今回は総会に先立ち、ベーシスト西川サトシさん(25期生)とギターの大野こうじさんが、スタンダードを中心に6曲を披露。会を盛り上げていただきました。



## 67期生(芸文29期生)同窓会委員

(クラス幹事と学年幹事○)

1組	○林 純平	○奥村 植々
2組	進藤 順亜	渡邊 想
3組	松本 翼	高田 心
4組	會田 拓真	森下 桜華
5組	篠原 和之心	井上 愛海
6組	杉本 真央	加地 琳太郎
7組	田中 瞳人	森山 七菜子

## 喜志剣道教室

☎ 090-3997-6788 應治(13期生)

大人の剣道教室  
初心者歓迎

# 2024(令和6)年度 緑友会総会のお知らせ

ぜひ、改修前の食堂をご覧ください。

日 時 2024(令和6)年6月30日(日)  
13時30分開始(受付 13時00分から)

会 場 東住吉高校 緑友会館1F食堂  
※お車での来校はご遠慮ください。  
※会場および周辺では終日喫煙できません。  
※今回は、母校での開催です。  
お間違えのなきようご注意ください。

第一部 総会(13:30~)

議題 ①2023年度事業報告 /②2023年度決算報告  
③2023年度監査報告 /④2024年度事業計画案  
⑤2024年度予算案 /⑥新役員選出  
その他 共生推進教室からの依頼

第二部 ミニ同窓会・茶話会(~17:00)

会場 食堂 参加費無料

ぜひお友達を誘ってミニ同窓会をされませんか。学校内のため、アルコール類は準備できませんが、お茶・コーヒー・ジュース缶とお茶菓子など準備させていただきます。できましたら、準備の都合上、緑友会ホームページの「お問い合わせ」より総会参加とメールくだされば有難いです。

現在の食堂は8期生の頃に完成しました。その後60年が経過し、ずいぶん傷んできています。内部は薄暗く冷暖房もなく、床も少しひげております。外部の通路、水洗い場、藤棚なども傷みが激しい状況です。

70周年記念事業として改修工事を企画し、プロジェクトを立ち上げて、みなさまからご寄付を募っております。

この夏休みに工事が行われます。冷暖房が完備され、簡単な舞台もできます。ミニ演奏会、落語会なども開催可能となります。

改修前の姿をご確認ください。そして9月7日の文化祭、11月16日の70周年記念式典の際にリニューアルした食堂もご確認ください。

緑友会報  
第42号

発行 大阪府立東住吉高等学校 緑友会  
発行人 川本 正人  
〒547-0033  
大阪市平野区平野西2-3-77  
電話/FAX 06-6706-3133  
(毎週水曜日 10時~15時 事務局開設)

## 2024(令和6)年度主な行事

月	日	曜	行事・イベント
4	5	金	70期生(芸文32期生)入学式
	8	月	始業式
5	18	土	体育祭
6	1	土	緑友会報42号(2024年度号)発行
	30	日	緑友会総会
7	20	土	芸能文化科(以下、芸文)卒業公演公開リハーサル
	21	日	芸文卒業発表会
22	月		夏休み(~8/19) 緑友会事務局夏季休業(数週間)
9	6	金	文化祭
9	7	土	文化祭(一般公開) ホームカミングデイ
11	9	土	チャリティー100Kmリレーマラソン (エイドステーション)、ホームカミングデイ
11	16	土	創立70周年記念式典(記念公演)
1	19	日	芸文選抜授業発表会
2	20	木	特別選抜入試(~2/21)・共生入試
2	27	木	69期生(芸文30期生)入会式 特別選抜合格発表
2	28	金	69期生(芸文30期生)卒業式(証書ホルダー寄贈)
3	12	水	一般選抜学力検査
3	14	金	後期終業式
3	21	金	一般選抜合格発表・入学説明会

## 役員候補(2024年6月~2027年6月)(敬称略)

今回の総会にて承認いただく人事です。6月の総会は役員の任期交代となっています。ほとんどの方は留任ですが、書記の石橋さんと会計の前岡さんは退任されます。

会長	川本正人(普通科21期)
副会長	渡真利由香(普通科25期) 末浪光樹(芸能文化科2期)
	津地嘉代子(普通科21期)
会計	吉川憲司(普通科16期) 松井厚(普通科21期)
書記	久下英孝(普通科28期) 萩原泰之(普通科31期) 中西裕希恵(普通科25期)
会計監査	山口文子(普通科18期) 糸井利則(普通科23期)

## 創立70周年記念式典・公演

日時 11/16(土)12:00~ 会場 母校体育館

第1部 12:00 創立70周年記念式典

第2部 12:55 落語、講談関係卒業生によるトークショー  
卒業生の式典・公演参加を予定しています。

- ❖記念式典・公演への参加方法・取り扱いの詳細については6月以降にホームページ等で公表の予定です。
- ❖9月・10月の水曜日10時~15時に同窓会事務局あて電話での応募も可能です。なお、応募多数の場合、お断りする場合があることをご承知おきください。

URL : <https://ryokuyukai.club/wp/>

mail : [info\\_ryokuyukai@yahoo.co.jp](mailto:info_ryokuyukai@yahoo.co.jp)

<https://www.facebook.com/ryokuyukai27>



<https://www.instagram.com/ryokuyukai/>



[https://twitter.com/ryokuyukai\\_club](https://twitter.com/ryokuyukai_club)

